



岩手県北自動車（岩手県北バス・南部バス）

■貸切バス・高速バス

「新型コロナウイルス感染症」対策

「飛沫感染(空気感染)」への対策

感染者のくしゃみ・咳・つばなどの飛沫とともにウイルスが放出され、他の人の口・鼻・眼の粘膜などから侵入することによって感染するのが「飛沫感染」で、新型コロナ感染症においても大きな感染経路の1つとされています。また、飛沫が乾燥して小さくなった粒子や、もともと極小(5μm以下)な粒子が空気中を漂い、それを吸い込むことによって感染する「空気感染」の可能性も否定されていない中、弊社ではバス車内の空間感染防止として以下の対策を行っております。



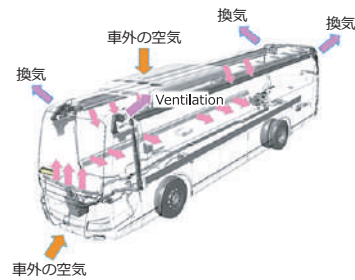
飛沫感染を防ぐために「パーテーション」を設置

飛沫感染防止の対策として、バスのシート間に透明パーテーションを設置。このパーテーションは顔の高さに取り付けられ、隣同士だけでなく、後部座席からの直接的な飛沫を防ぐ効果が期待できます。このタイプのパーテーション設置は、東北地方のバス会社では初めての取り組みです(一部車両)。さらに飛沫感染防止を徹底する上で、乗務員全員がマスクを着用するのはもちろん、お客様にもバス車内でのマスク着用や、バス車内での会話は極力ご遠慮いただくようお願いしております。



バス車内に「空気清浄機」を導入

バス車内には、浮遊細菌や浮遊ウイルスの作用を抑える効果のある「シャーププラズマクラスターイオン発生器(空気清浄機)」を搭載(または設置)しています。このシャープ・プラズマクラスター技術は、「世界で初めて浮遊する新型コロナウイルスの減少効果」を実証したもので、安全性についても確認されたものです(SHARPホームページによる ※プラズマクラスターはシャープ株式会社の登録商標です)。また、バス自体、車内の空気は「約5分」で完全に交換され、換気の面でも優れた乗り物と言えます。さらに運行中の「窓空け」や、休憩停車時での空気の入替えにより、空間感染防止に取り組んでいます。



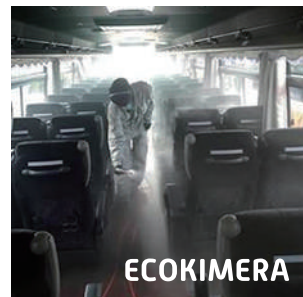
「接触感染」への対策

新型コロナ感染症の感染経路の多くは、飛沫感染と並び「接触感染」と言われています。感染者のくしゃみや咳を押さえた手で周りの物に触れ、他の人がそれに触れ、その手で口や鼻などに触れることで感染するのが「接触感染」です。感染防止のためには「未消毒の手で顔(口・鼻など)に触れないこと」が最も大切ですが、接触感染のリスクを最大限に減少させるため、弊社では以下の対策を行っています。



バス車内の「抗菌・抗ウイルスコーティング」

バス車内の内側(床・天井・側面・ガラス窓・座席・手すり・安全ベルトなど)全てに「抗菌・抗ウイルスコーティング(エコキメラ)」を実施済みです。「エコキメラ」はリン酸チタニアを主成分とし、光を全く必要としない暗所においても消臭・抗菌・抗ウイルス・防汚・防カビなど様々な効果効能を発揮する機能性コーティング剤です。病院・保育園・国立競技場等にも使われ、安全性とともにその効果は5年間持続します。さらに、バスの使用前には徹底したアルコール消毒(拭取り)も実施しており、お客様のバスご利用の際には常設の「消毒用アルコール」での手の消毒をお願いしております。



ECO KIMERA

岩手県北バスは、「貸切バス旅行連絡会」(日本バス協会・日本旅行業協会・全国旅行業協会)の「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」に基づき感染対策を徹底しております。貸切バスをご利用の際には、感染防止をさらに強化する上で、お客様にも「右記」の事項の協力をお願いいたします。

1. 乗車時にはマスクを着用いただくこと
2. 入念な手洗い、手指の消毒を行っていただくこと
3. バス内における飲食はできるだけ避け、特に飲酒、大声での会話、カラオケは原則として禁止いただくこと
4. ゴミは「エチケット袋」に入れ、原則として持ち帰っていただくこと